



化石のふしぎ3 ～更新世の琉球列島～

今回のテーマは、琉球石灰岩に形成された割れ目「フィッシャー」や洞穴から見つかるセキツイ動物の化石です。

新生代の更新世（およそ 258 万～1.2 万年前）に生きていた動物たちはどのような生き物だったのでしょうか。展示室で調べてみよう。

1. ある場所の、何万年や何十万年前の過去を復元するために、必要なことはなんでしょう？あてはまるものを選んでみよう（1つとは限りません）

- ① 一緒に見つかった、植物や動物の化石を調べる ② 地層のようすを調べる
 ③ 古文書を調べる ④ 写真を撮影して調べる ⑤ 多くの研究者の協力

2. 当時の琉球列島はどのような自然環境だったと推定されているのかなあ？

- ① 凍っていた ② 砂漠だった ③ 大森林地帯だった

3. あなたも名探偵！

調査：得られた証言をもとに、化石 A～C を搜索し、気づいたことを書いてみよう！！

※自然史部門展示室内のどこかにいます！！

動物化石 A についての証言：宮古諸島からしか見つかっていませんが、北方系の特徴を持つシカです。トゲトゲの角が特徴なんです！

動物化石 B についての証言：かたい甲羅を持つ、ハチュウ類です。現在も沖縄島北部、渡嘉敷島、久米島に生息しています。

動物化石 C についての証言：するどい牙が特徴です。現在も沖縄島や石垣島などに仲間が生息していますが、現在よりかなり大型だったようです。十二支にもなっています。

	動物化石 A	動物化石 B	動物化石 C
なまえ			
気づいたこと			

コラム：化石の宝庫「沖縄」

セキツイ動物だけでも、ゾウ類やシカ類、カエル類を含め多くの化石が見つっています。また、最古の日本人「山下町第一洞穴人」（およそ 32,000 年前）など、ヒトの化石が見つているのは、日本の中で沖縄県と静岡県だけです。

あなたの身近なところにも、新種の化石が眠っているかもしれませんよ。